



HITOMARO Column

鴨山 終焉の地のナゾ

人麻呂さんが終焉を迎える際に詠んだとされる歌にある「鴨山」がどこにあるのか、これまで多くの研究者により調査・研究されたテーマです。人麻呂さんの最大の謎です。石見だけでも「鴨山」だったのではないかという場所が益田、江津、浜田などいくつも存在します。近代の歌人・齋藤茂吉氏が定めた、美郷町の湯抱温泉付近の鴨山もそのひとつです。齋藤茂吉氏が人麻呂さんに注いだ情熱とその足跡（エピソード）は今も地域の人々により大事に受け継がれています。

おすすめスポット チェック!!

湯抱温泉

ゆがかと おんせん

周囲を山に囲まれ、のんびりとした情緒たっぷりの閑静な温泉です。近くの公園からは歌人・齋藤茂吉氏が人麻呂終焉の地と定めた鴨山を仰ぐことができます。昭和初期、茂吉氏がこの湯抱温泉に泊り込み、地域の人びととともに人麻呂研究に情熱を注いだ足跡が今も残っています。

おすすめスポット チェック!!

天津神社

白鳳年間に天津越えの籠二尾山に創始されたと言われる古社です。国の重要無形文化財の「大元神楽」の最古の記録「大元舞熟書之事」(1615年)を保管しています。往時は広い地域からの信仰を集め、三の鳥居まであったと伝えられています。



美郷町

齋藤茂吉さんの情熱と絆をたどる旅 きずな

<p>① 齋藤茂吉鴨山記念館</p> <p>齋藤茂吉氏は文献による研究と実地踏査の結果、ここ湯抱の地を柿本人麻呂終焉の地「鴨山」と定めました。鴨山関係の資料を展示しています(水・日・祝のみ開館)。</p> <p>0分 →</p> <p>滞在時間 30分</p>	<p>② 歌碑めぐり</p> <p>齋藤茂吉鴨山記念館から湯抱温泉を通過して鴨山公園へ至る登り道(町道湯抱線)沿いに、人麻呂さんと齋藤茂吉氏などの歌碑が11基あります。春は桜、秋は紅葉が綺麗です。</p> <p>0分 →</p> <p>滞在時間 30分</p>	<p>③ 鴨山公園</p> <p>ここから「鴨山」を展望することができます。「人麻呂がつひのいのちを」をはりたる 鴨山をしもこと定めむ(齋藤茂吉氏)の歌碑があります。</p> <p>10分 →</p> <p>滞在時間 15分</p>	<p>④ 江の川</p> <p>妻・依羅娘子の作「石川に雲立ち渡れ見つつ 偲はむ」を思い起こさせる景観です。観光遊覧船に乗れば、陸からの眺めとはひと味違った四季折々の情景を楽しむことができます。江の川の雄大な自然を体感しながら往時に想いを馳せてみてはいかがでしょうか。※遊覧コースは10名様以上からご利用頂けます。60分1,050円/1人・120分2,100円/1人</p> <p>20分 →</p> <p>滞在時間 60分~120分</p>
--	--	--	---

(国道375号沿い) 齋藤茂吉鴨山記念館 駐車場

道の駅グリーンロード大和

市町名/美郷町
交通手段/車
所要時間/175分~235分